



まちかど インタビュー

交通渋滞の緩和に効果的

県道広野・小高線整備事業

県道広野・小高線（浜街道）の整備については、このほど二ツ沼・大谷地区の整備が完了し、近いうちに通行が可能になるなど、本町内の道路整備が着々と進められているところです。

そこで今回は、町の幹線道路として全線開通が待たれる県道広野・小高線について、ご意見・ご感想を伺いました。



飯島 伸芳さん
下浅見川・松下

私、個人としては、浜街道の全線開通にあまり賛成ではありません。

なぜなら、交通量の増加によって、夜間の静寂（安眠）が妨げられるのではないかと、不安があるからです。しかし、朝夕の6号線の渋滞を緩和するには、全線開通はかなり

有効だと思います。

できれば、起点は桜田交差点ではなく、当初計画されていた折木・正木内地区とした方が、交通渋滞の緩和にはるかに効果的だと思います。



整備が進められている浜街道（下浅見川地区）



根本タキイさん
下浅見川・本町

浜街道の整備を町民の1人として、たいへんうれしく思っています。

全線開通となれば、町の活性化はもとより、人口増加にもつながることと思います。

その昔、下浅見川本町集落は、陸前浜街道沿いの宿駅だったそうですが、今はかつての面影もなく、閑静な住宅街に変わりました。

朝夕に散歩をされる方も多いので、人々が安心して立ち話に興じることができると、地域住民の「安らぎの場」として、周辺環境の整備についてもご配りよいただければ幸いです。

インタビュー 塩 史子

編集後記

黄金色の田んぼが1枚1枚と刈り取られています。

25年前には、どこの田んぼにも「捧げせ」が立ちならんでいたと思います。

あの当時、今のようには減反が進み、少子高齢化社会が到来することを誰が予想したでしょうか。

さて、4半世紀にわたってお届けしてきた「議会だより」も、今回で100号となり、それを記念して全頁フルカラーでの発行となりました。

創刊号から続いてきた歴史の重さを感じながら、今号の編集にたずさわれたことに感謝します。

（塩）



広報委員会

- 議長 坂本 紀一
- 委員長 中津 伸一
- 副委員長 渡邊 正俊
- 委員 鈴木 紀昭
- 委員 塩 史子
- 委員 鈴木 正範

次の定例会は12月です